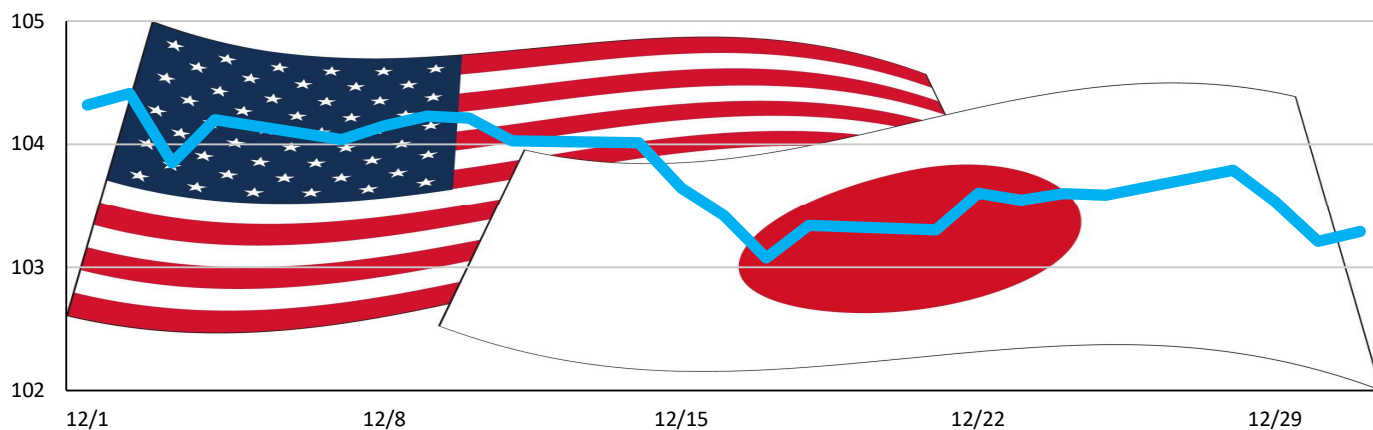


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 12月のドル円相場は104円半ば～102円後半で推移。月初のドル円は株高に追随した動きをみせていたが、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからないことから上値は限定的。新型コロナウイルスの影響で各国がマイナス金利政策を継続する中、FOMCにおいて実質ゼロ金利政策を2023年まで維持する方針を示したことで量的緩和長期化懸念によるドル売りが進行し、ドル円は3月以来の102円台をつけた。その後はクリスマス休暇や年末年始を控えたドル買戻しの動きから103円台に回復する動きもみられたが、月末にかけてリスク選好のユーロ買いドル売りが強まり、ドル円も再び102円台に突入するなどドル安の流れで2020年を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 世界中で新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、各国の量的緩和政策などで金利差が無くなり、世界的なドル売りの流れに歯止めがかかっていない。ワクチン開発及び接種というポジティブな面も見受けられるが、日本でも再び緊急事態宣言が検討されているなど、世界的に経済活動が制限され続けている状況が改善されるまでは積極的なポジションが取りづらくなっている。大きな流れが来るまでに対応できるポジション構築が必要となってくるのではないだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

| 日付 | 時間 | 国 | 指標名 | 重要度 |
|------------|---------|-----|----------------------|-------|
| 1 / 21 (木) | ** : ** | J P | 日銀金融政策決定会合 | ☆☆☆☆ |
| 1 / 21 (木) | 21 : 45 | E U | 欧州中央銀行 (E C B) 政策金利 | ☆☆☆☆ |
| 1 / 28 (木) | 4 : 00 | U S | 米連邦公開市場委員会 (F O M C) | ☆☆☆☆☆ |
| 1 / 29 (金) | 22 : 30 | U S | 個人消費 | ☆☆☆☆ |
| 2 / 4 (木) | 21 : 00 | G B | 英中銀政策金利 | ☆☆☆☆ |
| 2 / 5 (金) | 22 : 30 | U S | 米雇用統計 | ☆☆☆☆☆ |
| 2 / 10 (水) | 22 : 30 | U S | 消費者物価指数 (C P I) | ☆☆☆☆ |

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。